

2025年1月20日

QB 第二号ファンド 「株式会社 ANSeeN」 への出資について

当社のグループ会社である NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 林 弘喜）は、本日、「QB 第二号ファンド『株式会社 ANSeeN』 への出資について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2025年1月20日

QB 第二号ファンド 「株式会社 ANSeeN」への出資について

NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 林 弘喜）は、QB キャピタル合同会社（代表社員 坂本 剛、本藤 孝）と共同で運営する、「QB 第二号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「株式会社 ANSeeN」（代表取締役 小池 昭史、以下「当社」）に出資しましたので、お知らせします。

NCB ベンチャーキャピタルは、地域金融機関として、本ファンドを通じて積極的な創業支援を行い、地域産業の発展や雇用の創出に貢献してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社 ANSeeN
本 社 住 所	静岡県浜松市中央区和地山三丁目1番7号
代 表 者	代表取締役 小池 昭史
設 立	2011年4月
事 業 内 容	X線検出器の設計開発・製造販売

2. 対象企業の特長

- 当社は、静岡大学の化合物半導体センサ^{※1}の製造技術をコアに、従来のX線カメラに比べて高感度・高解像度のX線カメラなどを開発するスタートアップ企業です。
- 当社は、研究者と半導体関連事業出身者で経営チームを組成しており、化合物半導体センサの製造技術と独自のLSI^{※2}設計技術を活用して統合的に開発したX線カメラにより、医療用や工業用に幅広く使用されている既製品に置き換わる可能性を有していることから、今後の成長が期待されます。

※1 化合物半導体センサとは、複数の元素で構成された半導体を使用して作られたセンサ。

※2 LSIとは、大規模集積回路（Large Scale Integration）の頭文字をとったもので、半導体の小片の表面に微細な電子部品や配線を大規模に集積させ、複雑な機能を実現する電子回路部品。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
NCB ベンチャーキャピタル TEL 092-731-8010
担当 原田・井土

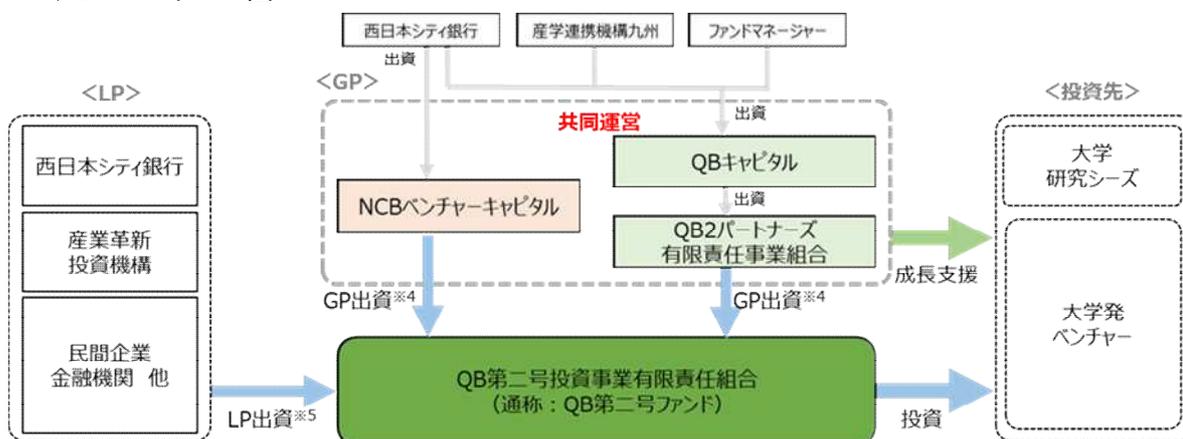
『QB 第二号ファンドについて』

1. 本ファンドの概要

名 称	QB 第二号投資事業有限責任組合（通称：QB 第二号ファンド）
ファンド総額	約 70 億円
無限責任組員 (GP※2)	QB2 パートナーズ有限責任事業組合※1 (QB キャピタル) 株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
有限責任組員 (LP※3)	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産業革新投資機構 民間企業、金融機関 他
設 立 日	2021 年 4 月 30 日（存続期間 10 年）

- ※1 QB2 パートナーズ有限責任事業組合：本ファンドを運営するために QB キャピタル等が設立した組合
- ※2 GP (General Partner)：ファンドの運用主体となる無限責任組員
- ※3 LP (Limited Partner)：ファンドの出資者となる有限責任組員

2. ファンドスキーム図



- ※4 GP 出資：ファンドの運用主体となる無限責任組員が約束する出資金額
- ※5 LP 出資：ファンドの出資者となる有限責任組員が約束する出資金額

3. 運営会社の概要

商 号	株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
所 在 地	福岡県福岡市中央区天神 2 丁目 5 番 28 号 天神西通りセンタービル 8 階
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
株 主	株式会社西日本シティ銀行（100%）
代 表 者	林 弘喜

商 号	QB キャピタル合同会社
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
出 資 者	株式会社産学連携機構九州 株式会社西日本シティ銀行 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

以 上